

大切な命を守るために、 定期的にがん検診を受けよう!



40歳からは毎年大腸がん検診があります! 検便で!!

日本人の死因の第1位は、がん(悪性新生物)で、胃・大腸・肺・乳房・子宮頸の各がんは、死亡数の多いがんで、県民の死因の第1位もがんです。県総死亡者(2022年)15,054人中3,462人(23.0%)が、がんで亡くなっています。特に、「大腸がん」は罹患数・死亡数ともに上位です。40歳からは大腸がん検診を毎年受診しましょう。

県内死亡順位の高いがん(2022年) (単位:人)

	1位	2位	3位	4位以下	計	男女合計
男性	肺 470	大腸 312	胃 160	その他 1,063	2,005	3,462
女性	大腸 223	乳房 172	肺 151	その他 911	1,457	

出典: 2022年厚生労働省人口動態統計(県集計)

がん検診を定期的に受診しましょう!

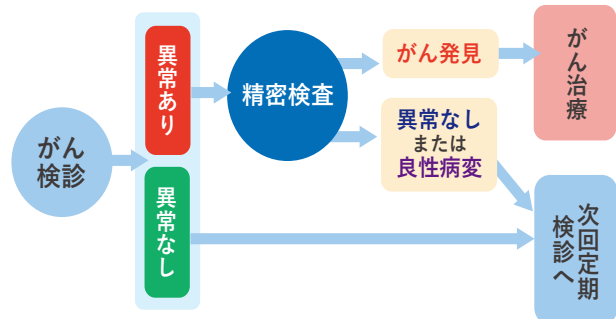
国は死亡数の多い5つのがん検診を推奨しています。早期発見のため、国が推奨するがん検診を定期的に受けることが重要です。

種類	対象者	受診間隔	検査項目
大腸がん検診	40歳以上	年1回	便潜血検査(検便)
胃がん検診	50歳以上 ※当分の間、胃部エックス線検査については40歳以上に対し実施可	2年に1回 ※当分の間、胃部エックス線検査は年1回実施可	胃X線(バリウム)検査 ^{※1} または胃カメラ
肺がん検診	40歳以上	年1回	胸部レントゲン検査および喀痰細胞診 ^{※2}
乳がん検診	40歳以上	2年に1回	マンモグラフィ検査
子宮頸がん検診	20歳以上	2年に1回	子宮頸部の細胞診
	30歳以上	5年に1回 ※罹患リスク高い者は1年後受診	HPV検査単独法 ※実施体制が整った市町村で選択可能

※1 当分の間40歳以上、年1回実施も可

※2 50歳以上で喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600以上の方が対象

がん検診の基本的な流れ



がん検診を受けるには?

お住まいの市町村でがん検診を実施していますので、各市町村のがん検診窓口へお問い合わせください(右記QRコード参照)。



(職場検診でがん検診を実施している場合は、職場の検診を受けてください。)

がん検診の効果は精密検査まで受けてこそ!

検診後、「要精密検査」と判定された場合、早期発見のチャンスを逃さず、必ず適切な精密検査[※]を受けてください。

がん検診の結果を持参すれば、保険適用で受けることができます。

県では、がん検診の精密検査について一定の条件を満たす医療機関を「沖縄県がん検診精密検査協力医療機関」として公表しています。詳しくは右記QRコードをご覧ください。



※例えば、大腸がん検診では「便潜血検査(検便)」を行います。検診で一度でも陽性になった場合は、検便ではなく、精密検査(大腸内視鏡検査等)を受けることが大切です。

問い合わせ

健康長寿課 電話: 098-866-2209 FAX: 098-866-2289

広告